

2020年2月期 第1四半期 (2019年3月1日~2019年5月31日)

決算説明資料



2019年7月12日(金)



2020年2月期 第1四半期 営業概況

	2019年2月期 (2018年3月～5月)	2020年2月期 (2019年3月～5月)	前年同四半期比	増減率
営業収入	66,210百万円	67,742百万円	1,531百万円	2.3% ↑
営業利益	12,750百万円	15,988百万円	3,237百万円	25.4% ↑
経常利益	12,913百万円	16,111百万円	3,198百万円	24.8% ↑
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,087百万円	11,002百万円	2,914百万円	36.0% ↑

【第1四半期の営業概況】

主力の映画事業において、昨年に続き興行収入90億円を超えた『名探偵コナン 紺青の拳（こんじょうのフィスト）』をはじめとする定番のシリーズアニメや、『キングダム』『名探偵ピカチュウ』等が高いレベルの成績を収め、前年同期を上回る多くのヒット作に恵まれた結果、増収増益。

演劇事業では、『Endless SHOCK』『レ・ミゼラブル』等の話題作が期待通りの盛況となり、増収増益。

不動産事業では、不動産賃貸事業において保有する賃貸物件が、低い空室率で堅調に稼働。道路事業も好調な受注によって増収増益。

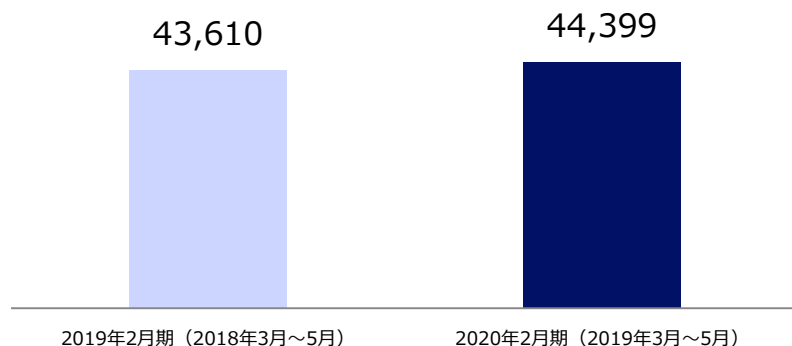
その結果、「収入・利益」各段階で前年同期を上回り、増収増益を達成。

セグメント別業績一覧

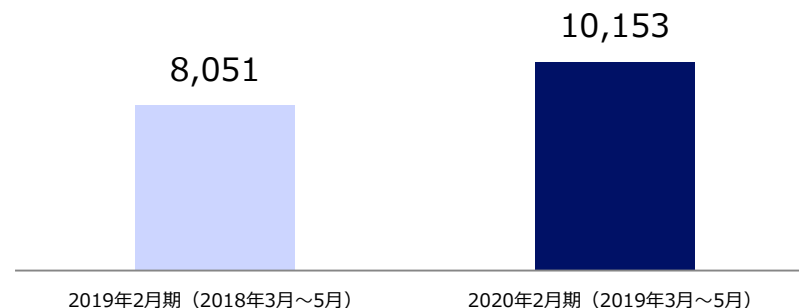
	営業収入 (単位:百万円)			営業利益 (単位:百万円)		
	2019年2月期 (2018年3月~5月)	2020年2月期 (2019年3月~5月)	増減率	2019年2月期 (2018年3月~5月)	2020年2月期 (2019年3月~5月)	増減率
①映画事業	43,610	44,399	1.8% ↗	8,051	10,153	26.1% ↗
映画営業	13,153	14,738	12.1% ↗	2,540	4,385	72.6% ↗
映画興行	21,833	22,520	3.1% ↗	3,819	4,324	13.2% ↗
映像事業	8,623	7,140	-17.2% ↘	1,692	1,444	-14.7% ↘
②演劇事業	4,096	4,382	7.0% ↗	743	1,221	64.4% ↗
③不動産事業	17,370	17,742	2.1% ↗	4,803	5,487	14.2% ↗
不動産賃貸	7,194	7,382	2.6% ↗	3,182	3,577	12.4% ↗
道路事業	7,309	7,616	4.2% ↗	1,354	1,640	21.1% ↗
不動産保守・管理	2,866	2,743	-4.3% ↘	266	268	1.1% ↗
④その他事業	1,132	1,216	7.4% ↗	74	62	-16.2% ↘

セグメント別業績【映画事業】

営業収入



営業利益



(単位：百万円)

業績分析 (増減要因)

- 映画営業事業では、『名探偵コナン 紺青の拳 (こんじょうのフィスト)』が昨年に続き興行収入90億円を超える大ヒット。シリーズアニメの『映画ドラえもん のび太の月面探査記』『映画クレヨンしんちゃん 新婚旅行ハリケーン ～失われたひろし～』も昨年に比肩する好調な成績を収めたことに加え、『キングダム』も興行収入56億円を突破する大ヒット。また、『名探偵ピカチュウ』も興行収入29億円を超える成績となるなど、ヒット作品の数・規模が前年同期を大きく上回ったことにより、増収増益。
- 映画興行事業では、洋画では『アベンジャーズ/エンドゲーム』『キャプテン・マーベル』(ウォルト・ディズニー)、『グリーンブック』(GAGA)等のヒットに加え、上記の当社邦画作品の豊富なヒット作が業績を牽引し、増収増益。
- 映像事業では、アニメ製作事業において『名探偵コナン 紺青の拳 (こんじょうのフィスト)』『Fairy gone フェアリーゴーン』等に製作出資。出版商品事業では『名探偵コナン 紺青の拳 (こんじょうのフィスト)』『映画ドラえもん のび太の月面探査記』等のアニメ作品のパンフレット・キャラクターグッズが順調に稼働。パッケージ事業において『SUNNY 強い気持ち・強い愛』『累-かさね-』が堅調に推移したが、減収減益。

(興行収入は2019年6月末時点)

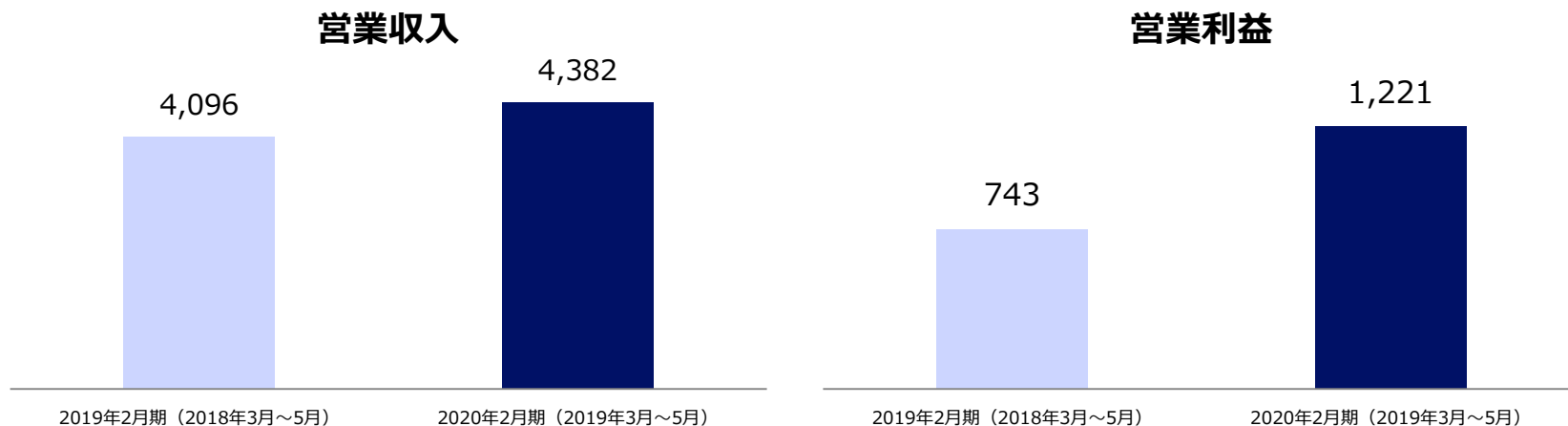
映画 - 主要稼働作品 -

東宝(株)配給作品（興行収入10億円以上）

作品名	公開月	興行収入
名探偵コナン 紺青の拳（こんじょうのフィスト）	2019年4月	90.8億円
キングダム	2019年4月	56.0億円
映画ドラえもん のび太の月面探査記	2019年3月	49.7億円
名探偵ピカチュウ	2019年5月	29.6億円
コンフィデンスマンJP	2019年5月	27.9億円
ゴジラ キング・オブ・モンスターズ	2019年5月	26.2億円
映画クレヨンしんちゃん 新婚旅行ハリケーン ～失われたひろし～	2019年4月	20.5億円
君は月夜に光り輝く	2019年3月	10.8億円

（興行収入は2019年6月末時点）

セグメント別業績【演劇事業】



(単位：百万円)

業績分析 (増減要因)

- 帝国劇場では、『Endless SHOCK』(3月公演)が全席完売。新キャストを加えた『レ・ミゼラブル』(4月～5月公演)も連日満席の大盛況となり、業績に貢献。
- シアタークリエでは、全米ベストセラーの初の舞台化『十二番目の天使』(3月～4月公演)が幅広い客層に支持され、2015年以来の再演『ライムライト』も好調に推移。『ジャニーズ銀座2019 Tokyo Experience』(4月～5月公演)は満席となる大盛況。
- 外部公演では、日生劇場で、2016年以来の再演『プリシラ』(3月公演)や『笑う男 The Eternal Love -永遠の愛-』(4月公演)等が順調に稼働。その他、『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』(3月公演 有楽町・オルタナティブシアター)等のバラエティに富んだ作品を提供。所属俳優が好調に稼働した東宝芸能(株)と合わせ、演劇事業全体として、増収増益を達成。

演劇事業 -主要稼働作品-



2月～3月 帝国劇場公演
『Endless SHOCK』



4月～5月 帝国劇場公演
『レ・ミゼラブル』

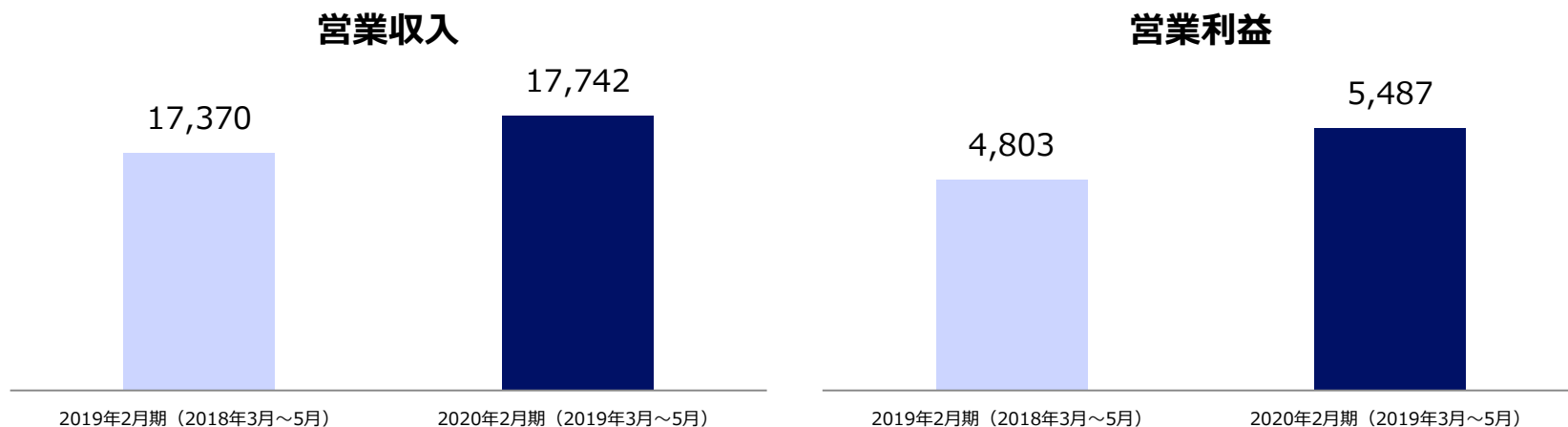


3月～4月 シアタークリエ公演
『十二番目の天使』



4月～6月 シアタークリエ公演
『ジャニーズ銀座2019
Tokyo Experience』

セグメント別業績【不動産事業】



(単位：百万円)

業績分析 (増減要因)

- 不動産賃貸事業では、再開発中だった「天神東宝ビル」(福岡市中央区)が、今年3月に「リッチモンドホテル 天神西通」として開業。保有する全国の賃貸物件はほぼ空室なく堅調に稼働し、昨年の日比谷ジャンテのリニューアル工事費用等の減もあり、増収増益。東宝スタジオは、当社配給作品の撮影やTV・CM撮影の誘致によりステージレンタルが順調に稼働。
- 道路事業では、建設技能者不足や受注競争の激化等が続くなか、コストの削減や業務の効率化による収益の向上に努め、また関西地区において、昨年受注した災害復旧工事や橋梁補修工事が完工したこともあり、増収増益。
- 不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理(株)、東宝ファシリティーズ(株)が労務費や資材価格の高騰など厳しい経営環境が続くなか、新規受注の開拓とコスト削減に取り組み、減収となるも増益を確保。

映画 & 演劇 話題の待機作品



MOVIE LINE UP



7月19日 (金) ロードショー

『君の名は。』の新海誠監督 最新作！

家出をして東京にやってきた帆高と、祈ることで空を晴れにできる少女・陽菜の物語が美しい映像と音楽で紡がれる。

『天気の子』

原作・脚本・監督：新海誠

音楽：RADWIMPS

声の出演：醍醐虎汰朗 森七菜 本田翼／吉柳咲良 平泉成 梶裕貴 倍賞千恵子／小栗旬

©2019「天気の子」製作委員会



7月26日 (金) ロードショー

『永遠の0』山崎貴監督が描く「戦艦大和」！菅田将暉ら豪華キャストが集結！

天才数学者VS戦艦大和 数学で戦争を止めようとした男と帝国海軍のかつてない頭脳戦が始まる！

『アルキメデスの大戦』

監督 脚本 VFX：山崎貴

原作：三田紀房「アルキメデスの大戦」（講談社「ヤングマガジン」連載）

出演：菅田将暉 柄本佑 浜辺美波／笑福亭鶴瓶 國村隼 橋爪功／田中泯 館ひろし

©2019「アルキメデスの大戦」製作委員会 ©三田紀房／講談社



8月2日 (金) ロードショー

シリーズ累計の出荷・ダウンロード販売数が7,800万本を突破した国民的RPGの映画化！

VFXの第一人者である山崎貴によってシリーズ初のフル3DCGアニメーション映画として登場！！

『ドラゴンクエスト ユア・ストーリー』

原作・監修：堀井雄二 音楽：すぎやまこういち

総監督・脚本：山崎貴 監督：八木竜一・花房真

声の出演：佐藤健 有村架純 波瑠 坂口健太郎 山田孝之

©2019「DRAGON QUEST YOUR STORY」製作委員会

©1992 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SPIKE CHUNSOFT/SQUARE ENIX All Rights Reserved.

STAGE LINE UP



6月～8月 帝国劇場公演
『エリザベート』



9月 帝国劇場公演
『DREAM BOYS』



6月 シアタークリエ公演
『CLUB SEVEN ZERO II』



9月 シアタークリエ公演
『Little Women
-若草物語-』

業績予想

■ 2020年2月期連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

第1四半期において、映画営業事業・映画興行事業を中心に映画事業全体が好調に推移したため、期首の業績予想を修正いたしました。

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円、銭
通 期	250,000	1.5%	45,000	0.0%	47,000	0.9%	31,500	4.3%	175.33

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではありませんのでご了承ください。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関するお問い合わせ

東宝株式会社

総務部 広報・IR室

TEL 03-3591-1303